

2026（令和8）年度神奈川県立保健福祉大学大学院
保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程入学試験
出題意図及び解答（看護領域）

一義的な解答を示せるものは解答を公表し、一義的な解答が示せないものは、出題意図を公表しております。

問題（看-1）<専門>

(1) <看護教育学>

《出題意図》

看護教育学の領域で学修するために、多職種連携における課題について自己の経験を言語化し、教育に関する基本的な知識を活用しながら、多職種連携教育への具体的な方策を論理的に記述する力を問うています。

(2) <基礎看護学>

《出題意図》

ヴァージニア・ヘンダーソンは、看護師の独自の機能を、看護師の判断で患者の生活行動上の基本的ニーズを満たすこと、健康回復と自立の促進をめざすことと述べています。この理論の知識を持っており、理論を引用しながら、自身の看護実践を省察する能力、心に残った理由を整理し論理的に記述する力を問うています。

(3) <小児看護学>

《出題意図》

医療的ケア児の地域生活における課題を的確に理解する能力、基本的な知識を統合する能力、論理的思考力、文章表現力を問うています。

(4) <療養生活支援看護学>

《出題意図》

治療や療養生活に影響をもたらすせん妄に関し、発症因子の関連性および発症予防を目的とした看護実践についての基礎的な専門知識を問うとともに、多職種連携や看護の専門性についての意識、説明力を問うています。

(5) <地域看護学>

《出題意図》

地域を基盤に活動する看護職として、自立促進における、対象への伴走支援や環境の調整、意思決定支援のあり方を問うものです。自身の実践を基に、地域における看護職としての課題意識や支援のあり方、専門職としての姿勢について、論理的に記述する能力を見る意図しています。

(6) <看護開発学>

《出題意図》

本問題は、遠隔診療の拡大に伴う僻地医療の変容を多角的に捉え、看護師の働き方と役割に関する変化を予測し、論理的に記述する力を問うています。

(7) <がん看護CNS>

《出題意図》

高度ながん看護実践に関する知識・技術を学修するために、がん看護の専門基礎知識を有していることを確認し、合わせてがん看護実践を客観的かつ多角的に分析する能力と、自己の考えを第三者にわかるよう論理的に記述する力を問うています。

(8) <慢性看護CNS>

《出題意図》

慢性看護学分野で学修するために、慢性看護に関する基本的な知識を有していること、複雑な状況にある慢性疾患患者の事象に関心をもち、自身の実践を分析し、論理的に記述する力を問うています。

(9) <助産実践コース>

《出題意図》

助産実践コースを修学するにあたり、母性看護学および助産学に関する基礎的かつ専門的知識を有しているかを確認する。加えて、助産師としての実践に関する理解および論述する力を問うています。

問題（看－2、看護－3）<専門共通>

《題材を選択した意図》

ケアの受け手の（経験である）主観をケア提供者が理解する方法とその意味について述べられた文章です。このことは、看護学において重要な対象理解における主観と客観の捉え方を見ることを意図しており、看護実践においても、研究活動においても不可欠な能力です。

問題（看－2）

《出題意図》

選択した題材における筆者の考えを読み取り、要約する問題です。具体的な例示から主観の意味へと導く文章を理解する読解力と、指定された文字数で、簡潔に記述する表現力を問っています。

問題（看－3）

《出題意図》

文章全体の論旨を踏まえつつ、自己の考えをまとめる問題です。題材の論文から自身の考えを派生させる論理的思考力と、その考えを他者にわかりやすく伝える表現力を問うことを問っています。

問題（看－4）<英語>

《題材を選択した意図》

選択した題材は、エキスパートナースの卓越した能力に関して述べられた文章です。看護スペシャリストを志す受験者として英文読解力を見るとともに、看護師の卓越した能力に対する文章構成力を見ることを意図しています。

（1）《出題意図》

英文読解した内容から、構文や卓越した能力についての理解を問っています。

（2）《出題意図》

英文読解した内容を踏まえて、その概要について的確に表現する力を問っています。